

# 米をめぐる関係資料

令和 3 年 2 月

農林水産省

# 目次

|                                                      |    |
|------------------------------------------------------|----|
| 【① 我が国におけるコメの状況】                                     |    |
| ○ 我が国におけるコメ                                          | 3  |
| ○ 米の全体需給の動向(昭和35年～)                                  | 4  |
| ○ 米の需要量及び販売価格の動向                                     | 5  |
| ○ 米の用途別・年産別面積の推移                                     | 6  |
| ○ 米の流通経路別流通量の状況                                      | 7  |
| ○ 米の流通の状況(平成16～30年産米)                                | 8  |
| ○ 家庭における1世帯当たりの米、パン、めん類の購入量の推移                       | 9  |
| ○ 家庭における1世帯当たりの支出金額の推移                               | 10 |
| ○ 米の消費における家庭内及び中食・外食の占める割合                           | 11 |
| ○ 米の消費動向                                             | 12 |
| ○ 主食用米の販売動向(米穀卸売業界調査)                                | 13 |
| ○ (参考) 茶わん1杯のお米の値段                                   | 16 |
| ○ 販売目的で作付けした水稻の作付面積規模別農家数(平成18～31年)                  | 17 |
| ○ 米の作付規模別60kg当たり生産費(平成30年産)                          | 18 |
| ○ 水田の利用状況の推移                                         | 19 |
| ○ 政府備蓄米の運営について                                       | 20 |
| ○ 東日本大震災を踏まえての災害時に対応した備蓄                             | 21 |
| ○ 福島県における県産米の安全・安心確保への取組                             | 22 |
| ○ 令和2年産米の作付制限等の対象地域(令和元年産との比較)                       | 23 |
| 【② 食料・農業・農村基本計画】                                     |    |
| ○ 食料・農業・農村基本計画:本文(米・水田農業関係抜粋)                        | 24 |
| ○ 食料・農業・農村基本計画:令和12年度における<br>食料消費の見通し及び生産努力目標(米部分抜粋) | 27 |
| 【③ 需要に応じた生産の推進に向けた施策等】                               |    |
| ○ 令和3年産米の需要に応じた生産・販売に向けて(令和2年12月21日農林水産大臣談話)         | 28 |
| ○ 各県における「生産の目安」の設定状況                                 | 29 |
| ○ 主産県(12道県)における「生産の目安」の設定状況                          | 30 |
| ○ 水田活用の直接支払交付金                                       | 31 |
| ○ 令和3年度における水田活用の直接支払交付金の見直し全体像                       | 34 |
| ○ 水田農業の高収益化の推進                                       | 35 |
| ○ 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業                               | 36 |
| ○ 麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト                                | 37 |
| ○ 小麦、大豆等の需要の拡大状況                                     | 38 |
| ○ 収入保険制度の実施                                          | 39 |
| ○ 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)                           | 40 |
| ○ 米穀周年供給・需要拡大支援事業                                    | 41 |
| ○ 主食用米の需給安定の考え方について                                  | 42 |
| ○ (参考) 米穀周年供給・需要拡大支援事業におけるこれまでの主な取組事例                | 43 |
| ○ 農業再生協議会について                                        | 44 |
| ○ 需要に応じた生産の推進に係る全国会議等(農林水産省主催)                       | 45 |
| ○ 全国的な推進組織について                                       | 46 |
| ○ 需要に応じた販売について(低価格帯の需要への生産・販売の拡大)                    | 47 |
| ○ 中食・外食向け販売量の状況について(中食・外食向け販売実態調査結果)                 | 48 |
| ○ (参考)中食・外食向けの需要に応じた生産・販売事例                          | 49 |
| ○ (参考)産地と中食・外食事業者等の米マッチングフェアについて                     | 51 |
| ○ 米の消費拡大                                             | 52 |
| ○ 中食・外食向け米の多収品種                                      | 53 |
| ○ 生産コスト低減に向けた具体的な取組                                  | 54 |
| ○ スマート農業実証プロジェクト                                     | 55 |
| ○ スマート農業技術の開発・実証プロジェクト                               | 56 |
| ○ スマート農業実証プロジェクト 採択数一覧                               | 57 |
| ○ 農産物規格・検査の見直しについて                                   | 58 |
| ○ 農産物検査規格・米穀の取引に関する検討会について                           | 59 |
| ○ 【参考】規制改革実施計画(令和2年7月17日閣議決定)(抜粋)                    | 60 |
| ○ 現行の農産物規格・検査の概要                                     | 61 |
| ○ 米(玄米・精米)の物流合理化について                                 | 62 |

# 目次

|                                         |    |                                      |     |
|-----------------------------------------|----|--------------------------------------|-----|
| 【④ 新規需要米の取組状況】                          | 66 | 【⑤ コメの輸出・輸入】                         | 83  |
| ○ 飼料用米の取組状況                             | 67 | ○ 食料・農業・農村基本計画におけるコメ・コメ加工品の輸出に係る位置づけ | 84  |
| ○ 多収品種について                              | 68 | ○ 農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略 品目別輸出目標          | 85  |
| ○ 令和元年産飼料用米の出荷方式、品種別面積                  | 69 | ○ コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況                  | 86  |
| ○ 飼料用米の供給状況                             | 70 | ○ (参考)米の輸出数量及び輸出金額の推移                | 87  |
| ○ 配合飼料メーカーの立地状況と飼料用米の集荷・流通体制            | 71 | ○ パックご飯・米粉及び米粉の輸出実績の推移               | 88  |
| ○ (参考)飼料用米の流通経費について(全国生産者団体による集荷・流通の場合) | 72 | ○ 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会(全米輸)の概要        | 89  |
| ○ 飼料用米の需要情報について                         | 73 | ○ 全米輸におけるこれまでの海外需要開拓の取組              | 90  |
| ○ 飼料用米の利用拡大のための機械・施設整備等に対する支援           | 74 | ○ コメ・コメ関連食品の輸出拡大に向けた取組               | 91  |
| ○ 飼料用米を活用した畜産物の高付加価値化に向けた取組             | 75 | ○ コメ海外市場拡大戦略プロジェクト(KKP)について          | 92  |
| ○ 飼料用米を活用した畜産物のブランド化事例                  | 76 | ○ (参考)中国向けコメ輸出の状況                    | 93  |
| ○ 「飼料用米多収日本一コンテスト」の開催                   | 78 | ○ 経営規模・生産コスト等の内外比較                   | 94  |
| ○ 米粉用米の状況                               | 79 | ○ 日米の水稻栽培法の主な違い                      | 95  |
| ○ 米粉によるグルテンフリー食品市場の取り込みに向けて             | 80 | ○ MA米をめぐる国際関係                        | 96  |
| ○ 日本酒原料米の需要動向について                       | 81 | ○ 総合的なTPP等関連政策大綱[米関係抜粋]              | 97  |
| ○ 酒造好適米の需要に応じた生産について                    | 82 | ○ 総合的なTPP等関連政策大綱に基づく備蓄米の運営の見直し       | 99  |
|                                         |    | ○ 日EU・EPA交渉結果(コメ)                    | 100 |
|                                         |    | ○ 日米貿易協定交渉結果(コメ)                     | 101 |
|                                         |    | ○ 世界のコメ需給の現状(主要生産国、輸出国等)             | 102 |
|                                         |    | ○ コメ輸出国の動向                           | 103 |

## ① 我が国におけるコメの状況

---

# 我が国におけるコメ

- コメの国内生産(稲作と水田)は、我が国の食料安全保障、食生活、農業・農村、国土・環境などに不可欠のもの。日本人の歴史・文化とも密接な関係。

## ○ 我が国の食料自給率(令和元年度)

|        | カロリーベース | 生産額ベース |
|--------|---------|--------|
| 平成30年度 | 37%     | 66%    |
|        | ↓       | ↓      |
| 令和元年度  | 38%     | 66%    |

### (参考)品目別供給熱量自給率

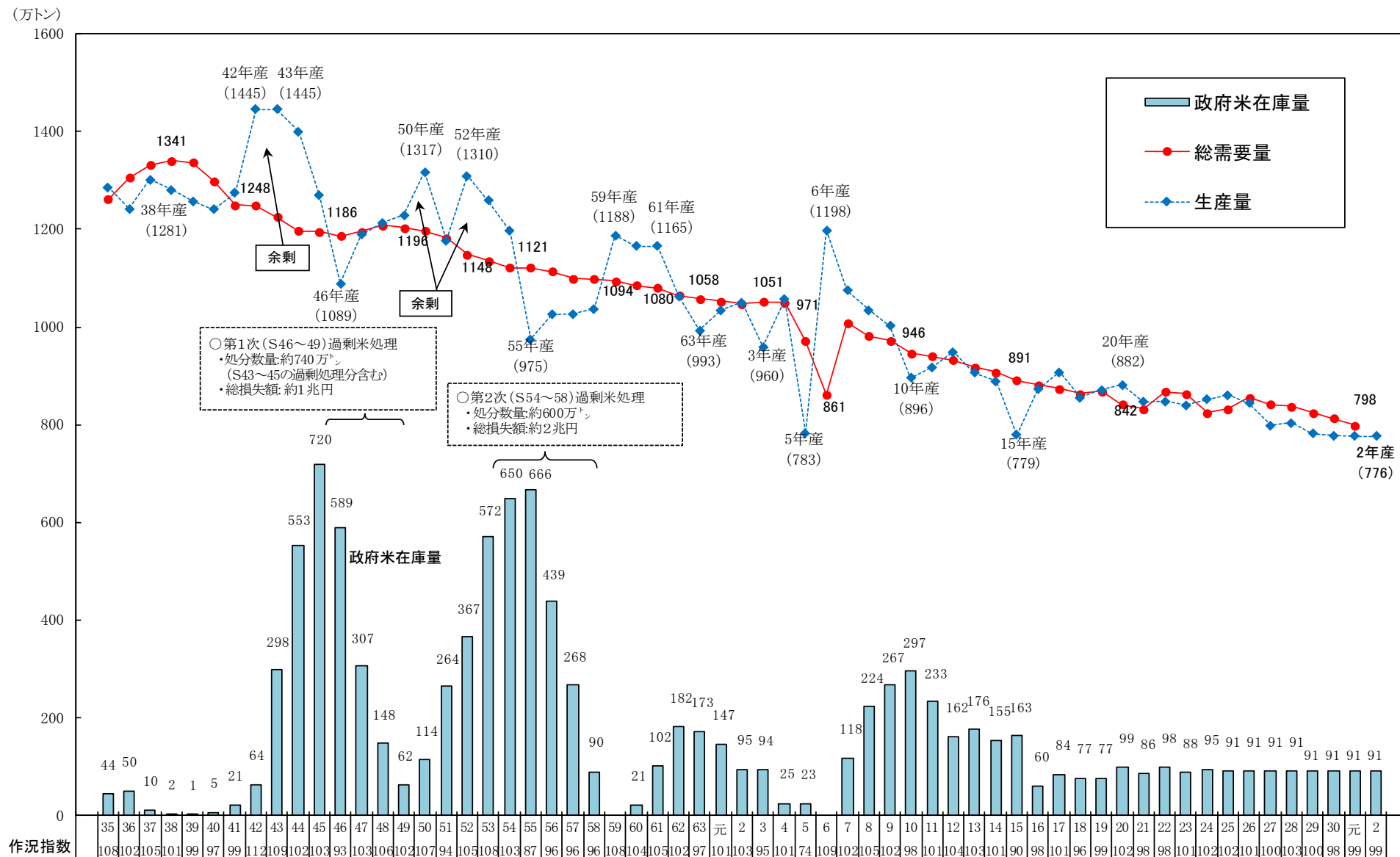
| コメ  | 小麦  | 大豆  | 野菜  | 果実  |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 98% | 17% | 22% | 76% | 32% |
| 畜産物 | 砂糖類 | 油脂類 | 魚介類 | その他 |
| 15% | 35% | 3%  | 54% | 23% |

- ・農産物市場の開放と食料の輸入依存が進む中で、コメは100%近い自給率を維持。
- ・コメは、先進国の中で最低レベルである我が国の食料自給率を支える、食料安全保障の要。

## ○ 我が国におけるコメの重要性

- ・ 国民の主食であり、食文化の基礎  
〔国産米は品質も高く、日本人の嗜好に最適。ご飯、おむすび、寿司などの他、もち、和菓子(例. 団子、白玉)、米菓(例. せんべい、あられ)、日本酒などの原材料。祝事や年中行事には赤飯、鏡餅、柏餅など。〕
- ・ 農業生産・農村経済の中核  
〔農業生産額の約2割がコメ(H30)。全耕作地の半分以上が田(R1)。全農業経営体の7割が稲作(H30)。〕
- ・ 稲作や水田の有する多面的機能  
〔国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承など、農村で農業生産活動が行われることにより生ずる、食料などの供給の機能以外の多面にわたる機能のこと(食料・農業・農村基本法第3条)。〕
- ・ 日本人の歴史や文化と密接な関係  
〔稲作の始まりにより社会(ムラ)・国家(クニ)が成立。江戸時代の各藩はコメの生産量で表され(石高制)、税もコメ(年貢)。豊作への感謝と祈りが、祭りの起源。稲作での共同作業は、日本の組織文化の基礎。〕

# 米の全体需給の動向(昭和35年～)

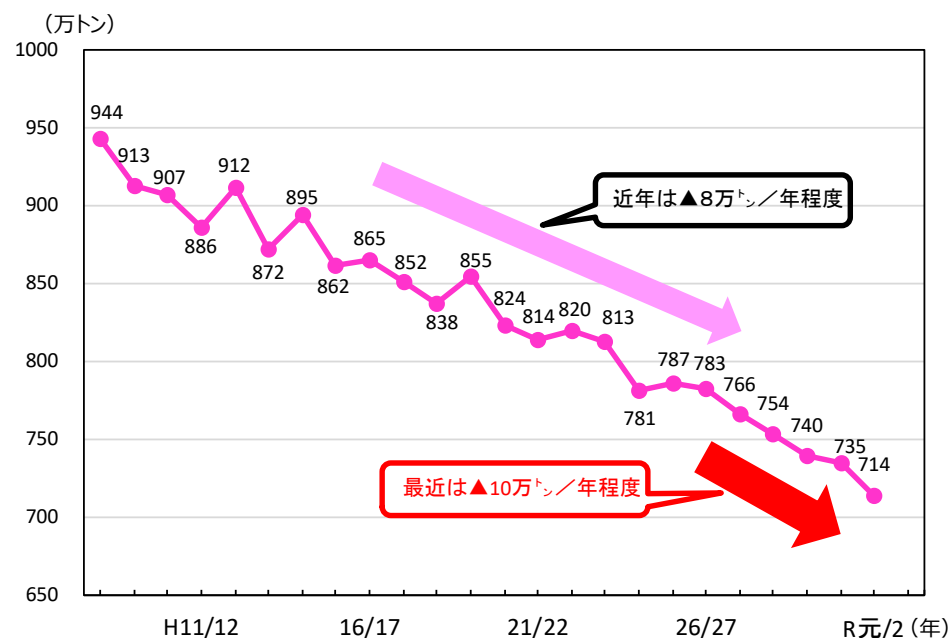


- 注1. 政府米在庫量は、外国産米を除いた数量である。  
 2. 政府米在庫量は、各年10月末現在である。ただし、平成15年以降は各年6月末現在である。  
 3. 平成12年10月末の政府米在庫量は、「平成12年緊急総合米対策」による援助用隔離等を除いた数量である。  
 4. 総需要量は、「食料需給表」(4月～3月)における国内消費仕向量(陸稲を含み、主食用(米・粟・米粉を含む)のほか、飼料用、加工用等の数量)である。ただし、平成5年以降は国内消費仕向量のうち国産米のみの数量である。  
 5. 生産量は、「作物統計」における水稲と陸稲の収穫量の合計である。  
 6. 1人1年当たり消費量は、「食料需給表」(4月～3月)における1人当たり供給純食料(精米ベース)の1年当たり数量である。

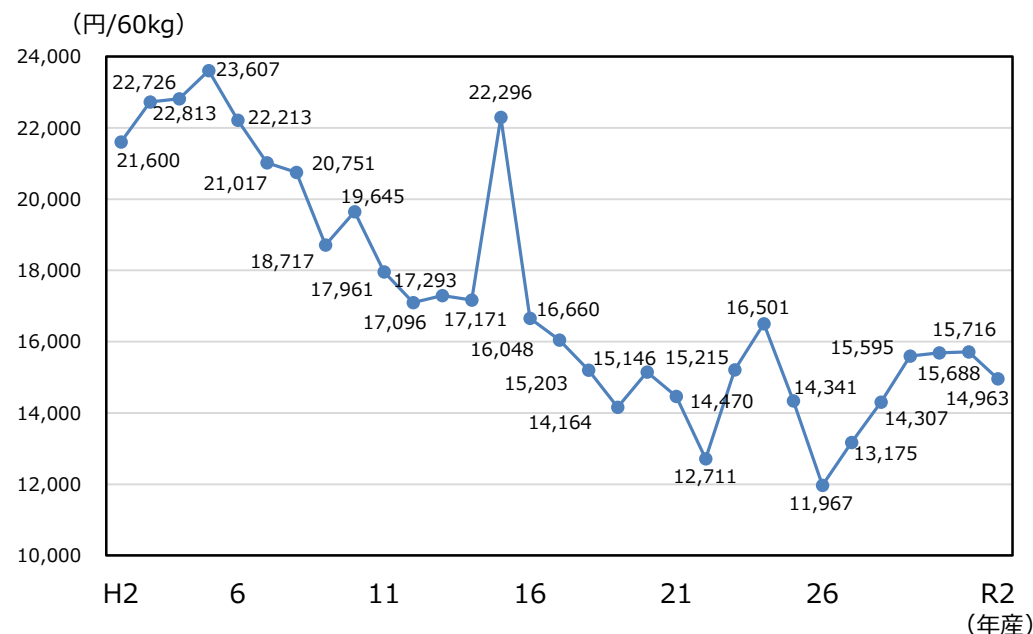
# 米の需要量及び販売価格の動向

- 主食用米の全国ベースの需要量は一貫して減少傾向にある。最近では人口減少等を背景に年10万トン程度に減少幅が拡大。
- 米の販売価格は長期的に低下傾向で推移しているが、近年は堅調に推移。

【主食用米の需要量の推移】



【米の販売価格の推移】



資料：（財）全国米穀取引・価格形成センター入札結果、農林水産省「米穀の取引に関する報告」  
 注1：平成2～17年産までは（財）全国米穀取引・価格形成センター入札結果を元に作成。  
 注2：平成18年産以降は出回り～翌年10月（令和2年産は令和3年1月）までの相対取引価格の平均値。  
 注3：センター価格は、銘柄ごとの落札数量で加重平均した価格であり、相対取引価格は、銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

# 米の用途別・年産別面積の推移

(単位:万ha)

| 用途<br>年産 | 主食用米  | 生産量<br>(万トン) | 備蓄米                            | 加工用米 | 新規<br>需要米 |     |                          |     |                       |     |     |
|----------|-------|--------------|--------------------------------|------|-----------|-----|--------------------------|-----|-----------------------|-----|-----|
|          |       |              |                                |      |           | 飼料用 | WCS<br>〔<br>稲発酵<br>粗飼料稲〕 | 米粉用 | 新市場<br>開拓用<br>(輸出用米等) | 酒造用 | その他 |
| H20      | 159.6 | 866          | H22年産<br>までは、<br>主食用米<br>として生産 | 2.7  | 1.2       | 0.1 | 0.9                      | 0.0 | 0.0                   | —   | 0.2 |
| H21      | 159.2 | 831          |                                | 2.6  | 1.8       | 0.4 | 1.0                      | 0.2 | 0.0                   | —   | 0.1 |
| H22      | 158.0 | 824          |                                | 3.9  | 3.7       | 1.5 | 1.6                      | 0.5 | 0.0                   | —   | 0.1 |
| H23      | 152.6 | 813          | 1.2                            | 2.8  | 6.6       | 3.4 | 2.3                      | 0.7 | 0.0                   | —   | 0.1 |
| H24      | 152.4 | 821          | 1.5                            | 3.3  | 6.8       | 3.5 | 2.6                      | 0.6 | 0.0                   | —   | 0.1 |
| H25      | 152.2 | 818          | 3.3                            | 3.8  | 5.4       | 2.2 | 2.7                      | 0.4 | 0.1                   | —   | 0.1 |
| H26      | 147.4 | 788          | 4.5                            | 4.9  | 7.1       | 3.4 | 3.1                      | 0.3 | 0.1                   | 0.1 | 0.1 |
| H27      | 140.6 | 744          | 4.5                            | 4.7  | 12.5      | 8.0 | 3.8                      | 0.4 | 0.2                   | 0.1 | 0.0 |
| H28      | 138.1 | 750          | 4.0                            | 5.1  | 13.9      | 9.1 | 4.1                      | 0.3 | 0.1                   | 0.1 | 0.0 |
| H29      | 137.0 | 731          | 3.5                            | 5.2  | 14.3      | 9.2 | 4.3                      | 0.5 | 0.1                   | 0.1 | 0.0 |
| H30      | 138.6 | 733          | 2.2                            | 5.1  | 13.1      | 8.0 | 4.3                      | 0.5 | 0.4                   | —   | 0.0 |
| R元       | 137.9 | 726          | 3.3                            | 4.7  | 12.4      | 7.3 | 4.2                      | 0.5 | 0.4                   | —   | 0.0 |
| R2       | 136.6 | 723          | 3.7                            | 4.5  | 12.6      | 7.1 | 4.3                      | 0.6 | 0.6                   | —   | 0.0 |

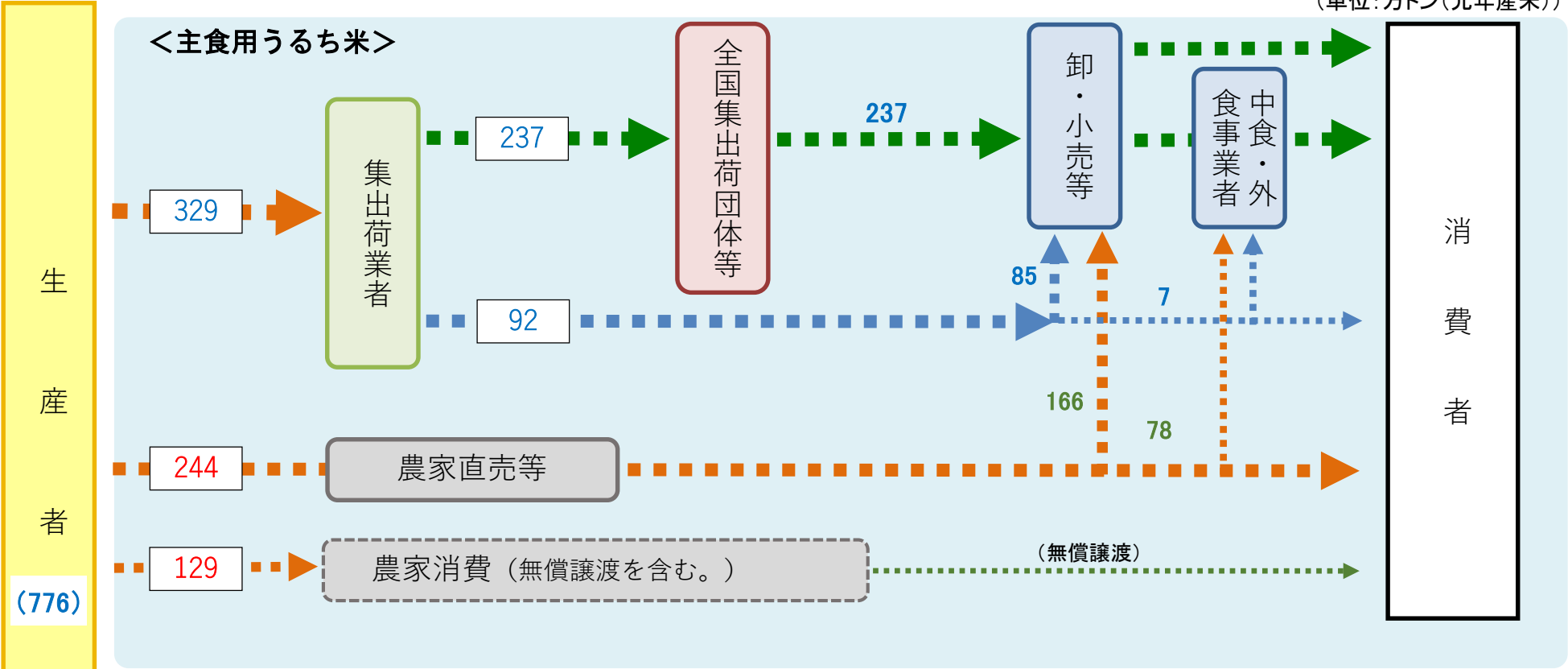
注1: 主食用米:統計部公表値。備蓄米:地域農業再生協議会が把握した面積。加工用米及び新規需要米:取組計画認定面積。

注2: 新規需要米の「酒造用」については、「需要に応じた生産・販売の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注3: ラウンドの関係で、新規需要米の合計と内訳は合わない場合がある。

# 米の流通経路別流通量の状況

(単位: 万トン(元年産米))



資料：農林水産省「作物統計」、「生産者の米穀在庫等調査」、「農林業センサス」、「米穀の取引に関する報告」及び全国出荷団体調べ等を基に推計。

注1：集出荷業者には、全集連系を含む（JA等への出荷量317万トンのうち19万トンが全集連系）

注2：「卸・小売等」には、中食・外食事業者及び加工事業者等を含む。

注3：ラウンドの関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

| (参考) 入手経路別の購入割合 (複数回答) |       |         |
|------------------------|-------|---------|
|                        |       | 対前年比    |
| スーパーマーケット              | 48.8% | (▲3.9%) |
| その他の小売店                | 22.2% | (+2.6%) |
| 産地直売所                  | 1.4%  | (▲0.8%) |
| インターネット                | 9.9%  | (+0.1%) |
| 生産者から直接購入              | 4.4%  | (▲1.6%) |
| 無償譲渡                   | 17.5% | (+2.7%) |

※ 米穀安定供給確保支援機構調べを元に農林水産省で算出（令和元年4月から令和2年3月の年平均）